



# 関中央ロータリークラブ

## 2023-2024 WEEKLY REPORT

例会日：毎週木曜日 18時30分 例会場：関観光ホテル 住所：岐阜県関市池尻 91-2  
 事務局：岐阜県関市下有知 1655-1 山田ビル 1階D室 TEL (0575) 24-7332 FAX (0575) 23-5278  
 会長 森 敬 副会長 川上 勉 幹事 石原 妙生 クラブ会報委員長 後藤 政之

### 2023~2024 年度 関中央ロータリークラブ会長テーマ

「親睦から生まれる奉仕の心、  
 奉仕から広がる友情の輪、そして共に成長し合おう」



世界に希望を生み出そう

#### 4つのテスト

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

本日のプログラム 第 2115 回例会 2023 年 9 月 16 日 (土) 担当：社会奉仕委員会  
 米作り農業体験事業 / 稲刈り体験

#### 前例会の記録 第 2114 回 2023 年 9 月 8 日 (木)

##### ガバナー会長・幹事懇談会

会場：美濃緑風荘 11:00 ~ 11:45  
 出席者：ガバナー・地区幹事・ガバナー補佐  
 各クラブ会長・幹事

##### ガバナー公式訪問 3RC 合同例会

- 開会点鐘 北村 建 美濃RC会長
  - Rotary Song 斉唱 国歌・奉仕の理想
  - ゲスト紹介 森 敬 関中央RC会長  
 RI 第 2630 地区 篠原 一行 ガバナー  
 " 山本 和彦 地区代表幹事  
 " 石神 洋 様  
 (多治見リバーサイドRC)
- 東海北陸道グループガバナー補佐挨拶 渡邊 剛 ガバナー補佐
  - 危機管理委員会委員・R財団部門委員長・学友委員会委員長 堀部 哲夫 様 (関RC)

#### ・米山記念奨学委員会委員

- 小川 定彦 様 (美濃RC)
- 会長挨拶 北村 建 美濃RC会長
  - 各クラブ出席報告 (3RC担当者)  
 ニコボックス発表 ( " )
  - 幹事報告 ( " )
  - ガバナー卓話 篠原 一行 ガバナー
  - お礼のことば 閉会挨拶  
 大澤 竜一 関RC会長
  - 閉会点鐘 北村 建 美濃RC会長

#### \*会長あいさつ

北村 建 美濃RC会長  
 本日は、篠原ガバナーをお迎えし、3クラブ合同の訪問例会です。篠原ガバナーの方針は、「奉仕の心を未来へつなげよう」ですが、私は継続が一番大事であると思います。美濃ロータリーは今一番もがいている時期です。最盛期は会員が70数人おりましたが、今は18人となり、ろうそくの火が消えかかっています。今年一年でもう一度原点に戻って、どうして少ないのか、ロータリーの魅力があるのかな

いのか、そういったことをしっかりメンバーと一緒に考えて答えを出そうと思っております。ぜひ関の皆様からもお知恵を頂ければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

#### \* 米山記念奨学生挨拶

載 騰敏 さん



マレーシアから日本に留学し、はじめは北海道の苫小牧高専で勉強をし、それから岐阜大学 工学部に編入しました。今年度は修士1年生です。地盤や地下水について勉強しています。趣味はバドミントンとバレーボールと筋トレです。どうぞよろしくお願いいたします。

#### \* 卓 話

国際ロータリー第2630地区  
篠原 一行 ガバナー

各クラブの皆様方には、日頃より、地区運営にご理解ご協力を



いただきましてありがとうございます。本年1月に、国際協議会に出席しました。長くサンディエゴで開催されていた国際協議会ですが、浦田パストガバナー年度から、オランダで開催されるようになり、コロナの影響で3年ぶりの現地開催となりました。RI会長のテーマは、「CREATE HOPE in the WORLD 世界に希望を生み出そう」です。私たちの目標は、紛争から世界が立ち直れるように、希望を取り戻すことで、持続可能な変化をもたらすことが可能となるでしょう。平和とは希望が根づくための土壌です。世界と自分自身の中に平和を築くことに力を注げば、より平和でより希望のある世界を築く手助けができると思います。ロータリーは多くの奉仕プロジェクト事業を通して、多くの人に多くの希望を与える活動を実践してきました。この変化が一つずつ希望を取り戻し、新たな希望を生み出していけるとと思います。平和とは、紛争や戦争が無くなることは勿論ですが、治安が良いこと、貧困や飢餓がなくなること、家族と平穏に暮らせること、人として最低限の文化的な生活ができることではないでしょうか。そのために、ロータリアンは奉仕の心をもって、未来のために多くの課題の解決に取り組んできました。「奉仕の心」を常に持って、そして「未来

の人たちのため」に、それを「つなげていくこと」が大切と考えています。私のガバナーとしての地区方針は、「奉仕の心を未来へつなげよう」です。日本のロータリーは、例会をとっても大切にしています。「Enter to learn, Go forth to serve 入って学び、出でて奉仕せよ」 例会の場で奉仕の理念を学び、外では奉仕の実践を！であります。日本には素晴らしい『地域』があって『ロータリー』があって『ロータリアン』がいます。例会で多くのことを学び、奉仕の心を磨き、奉仕の実践をして、奉仕の心を多くの人たちにつなげていくことで奉仕の輪が広がり、地域社会の発展、広くは世界の発展、世界平和に貢献できるようになるでしょう。私たちが、未来のために共に行動しようではありませんか。例会は、職業人としての倫理を向上させ、理念の浸透を図り、互いに切磋琢磨し学ぶ場であります。例会のプログラムを大切に、例会への出席を大切にしましょう。例会のプログラムを工夫するなどして、例会に出席してよかったという気持ちで帰ってもらえるようにしたいものです。中でも会長挨拶はととても大切であると思っています。また、多くのクラブが、クラブ研修リーダーを選任していただいておりますが、クラブを活性化するためにも、クラブ内での研修活動を定期的実施することは効果的と考えます。ロータリーの理念やロータリーの素晴らしさが身に付けば、クラブの強化につながり、会員増強にもつながると考えます。入会して3年未満で辞める方が50%近くいます。ロータリーの理念も、ロータリーの素晴らしさも理解しないでやめていかれることは、本当に残念でもったいないと思います。次に、日本のロータリーは、職業奉仕、4つのテスト、ロータリーの目的、例会を重視してきました。そして、ロータリーの二つの公式標語である「超我の奉仕」は、奉仕の哲学を表しています。「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」これは実践論です。他者に対する正しい経営の科学のみが引き合います。日本のロータリーでよく話される近江商人の三方よしです。大切なことは、世間良しです。また、ロータリーの定義として、2010年に出されたロータリーの中核的価値観というものがあります。

『奉仕・親睦・多様性・高潔性・リーダーシップ』の5つです。ロータリーの目標でもあり、ロータリーを定義づける不変的な価値観です。そして、2017年に、私たちロータリアンは、「世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています。」というビジョン声明が出されました。これを実践するための戦略計画があります。『より大きなインパクトをもたらす。参加者の基盤を広げる。参加者の積極的なかわりを促す。適用力を高める。』です。先ほどの5つの価値観、ビジョン声明を達成するための戦略計画といえます。よって、「会員基盤の強化」が大変重要となってきます。日本のロータリーは、25年前に約13万人でしたが、今は約8万人弱です。若い世代や経験豊富な退職者世代、また性別を問わず入会していただきたいと思います。クラブは、多様性・ダイバーシティの概念を念頭において、仲間を増やす工夫をして頂きたいものです。世界で女性会員の割合は約25%ですが、日本は約7%です。全体の会員数はコロナの影響でここ3年間は減少しており、大変厳しい状況です。各クラブ平均1人増えれば、地区全体で73人増えます。会員の多いクラブは、更に増員増強にご尽力をお願いします。そのためには、クラブを魅力あるものにすることが肝要と考えます。そして一人一人の会員と向き合い、意欲を持って奉仕活動ができる会員が数多く存在することが、クラブの魅力になるのではないのでしょうか。元気で居心地の良いクラブづくりに積極的に取り組んでほしいと思います。そして「DEI、ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン」あまりなじみのない言葉かもしれませんが、現在とても大切なワードとして私は地区方針にうたっております。この取り組みは、多くの企業で推進されています。当地区では、昨年度よりD・E・I委員会を立ち上げ、誰でも活躍できるロータリーに推進していきます。

10. ここで公共イメージと認知度の向上についてお話しします。「ロータリー」は意外と世間に知られていません。あるいはロータリーという名前が知られていても、どんな活動をしているかはあまり知

られていないようです。我々の活動が世間に認知されることで、我々の励みにもなると思います。奉仕活動の機会を捉え、クラブがこれまで行ってきた活動を伝えるとともに、ロータリーが国際的なネットワークで実践している「ポリオ撲滅」に力を入れていることなども伝えていきたいです。ロータリーの奉仕は皆さんご存じの通り、五大奉仕です。5つの内、国際ロータリーRIが実際に携わって実施しているのは青少年奉仕だけです。ロータリーのキーワードは「未来のため」です。RIは青少年交換・インターアクト・ローターアクトに力を入れています。共にとても素晴らしい事業です。全てロータリーファミリーです。さらには2015年以降、SDGsがよく語られています。2030年までの持続可能な17の目標を改めてかいつまんでみますと、その多くが以前より、ロータリーの奉仕プロジェクトプログラムの中に組み込まれていることに気付かされます。以前は6つでしたが、「環境の保護」がプラスされて、7つの重点分野になりました。それを受け、各クラブがさらに様々な奉仕プロジェクトを実践するようになりました。『Doing good in the world 世界で良いことをしよう』そこで、ロータリー財団の地区補助金、グローバル補助金制度を活用して、地域社会で、また海外で奉仕プロジェクトを実践して下さるようよろしくをお願いします。ロータリー財団は、世界では非常に高い評価を受けています。あの有名なチャリティナビゲーターで、連続15年最高位の4つ星を頂いています。お金の使い道、使い方、透明性、いずれの面においても高い評価を受けています。財団奨学生も素晴らしいです。皆さんご存じの緒方貞子さんや、国連の事務次長の中満泉さんを初め、数多くの財団奨学生が世界各地で大活躍してみえます。今後も世界に羽ばたく人材を育成することができるよう、財団へのご寄付を引き続きよろしくをお願いします。ポリオは非常に感染性の高い病気であり、特に感染しやすいのは5歳未満の子どもです。日本では一般に「小児まひ」と呼ばれることもあります。ポリオウイルスは人から人へ感染し、最も多いのは汚染水を通じた感染です。根絶した天然痘と同じで、媒体を通じてではなく人から人ですの

で、ポジティブに応援して頂きたいと思います。ポリオ根絶が課題であり、ワクチン投与を続けなければなりません。日本でも毎年ポリオワクチン投与で約400億円使用しています。ポリオ撲滅が実現すれば、ロータリーの人道奉仕の成果として、歴史に残ります。ロータリーの米山記念奨学会の制度は、1952年に始まりました。戦後まもなくです。創設の目的は、「日本が再び戦争をしないという強い意志を持ち、そして、我々ロータリアンが平和を築く努力をする」、という趣旨です。日本で勉学・研究をしている留学生への支援を通じて、信頼関係を築き、留学生の皆さんに、世界平和の懸け橋となっていただくことを願って設けられたものです。留学生が、専門的な研究で成果を挙げられるとともに、これを機会に、各国のロータリアンとの交流を通じて、国際的な友好、信頼を深めていただき、日本と母国との懸け橋になって活躍して頂きますように願っています。元気なクラブ、魅力あるクラブ、居心地の良いクラブとは、親睦や例会を会員が楽しみ、ロータリーを通じて友人が増え、みんなの知識レベルやロータリーの理解が深まり、奉仕活動を通じて世の中の為に良いことをしているという喜びを実感できるクラブではないでしょうか。そして、新しい会員が入って仲間が増え沢山の同好会があり、他のクラブとも交流があるクラブにしていきたいものです。ロータリーに大切なことは、多様性と寛容な心だと思います。ロータリーは時代とともに変化しています。固定観念に縛られない新しい風を取り入れて、皆で一緒になってより良い方向へ考えていきましょう。

18. ロータリーは、ロータリアン同士の親睦を重ねて、共に学び、そして社会に貢献する世界的な団体であります。日本で大切にされてきたロータリー観を一言で言えば、『親睦・学び・成長・奉仕』です。マイロータリーでは、多くの正しい情報が得られます。日本国内34地区、第2630地区のマイロータリーへの登録率は約30%、全国平均より大変低いです。各クラブともぜひマイロータリーの登録をお願いします。入会と同時に登録しているクラブもあります。地区登録率50%目指して、重ねて宜しくお

願いします。そしてもう一つ、ロータリーカードについてお願いがあります。個人とクラブ用、地区用、地区委員会用とありますが、クラブカードは、人頭分担金やR財団への寄付金送金も、マイロータリーよりRカードで送金が大変便利です。地区カード、そして地区委員会カードの推進についても合わせてよろしく願いします。使ったお金の0.3%がポリオに自動的に送信されます。

20. 最後になりますが、本年11月18日(土)に多治見市で地区大会を開催いたします。テーマは、「希望と未来を、あつく語ろう 多治見のまちで。」です。多くの皆様方のご登録、ご参加を宜しく願いいたします。日本の伝統、しっかりとおもてなしをもって皆様方をお待ちしています。

#### \*出席委員会

会員数28名、本日の出席12名です。

#### \*ニコボックス委員会

・会長、副会長、幹事

本日は3クラブ合同ガバナー公式訪問に篠原ガバナー、遠方のところお越し頂きありがとうございます。卓話で勉強させていただきます。

・前田 仁夫 会員

ポリオの宣伝カーを初めて見ました。ポリオについてもロータリアン全員で頑張りあいましょう。

・12名のご投函ありがとうございました。



#### <次例会の案内>

第2116回 2023年9月28日(木)

卓話：高井 良祐 会員

テーマ：R財団研修セミナー

担当：ロータリー財団委員会



9月10日（日）

第62回 関市発明展が行われました。

下有知中学校1年 武藤 歩夢 さんが『関中央ロータリークラブ会長賞』を

受賞されました。

おめでとうございます！



<様式3>

出展番号	第62回 関市発明展出品賞	<様式3>
種別	第1種 発明の基礎を学ぶ児童 第6種 生活の発展・アイデア発想(若狭)	
作品名	家で出来る食品ロス対策	
ふりがな	ふりな 武藤 歩夢	
名前	武藤 歩夢	
学校名	下有知中学校	学年 1 年
作品の大きさ	縦 45 cm 横 32 cm 高さ 1 cm 重さ 530 kg 値段 500 円	
1 発明くふうした動機(どうして作ると思ったか?)	イッぱはたまにおかずを消費することがあるから残すのをへらすために作りまし。	
2 発明くふうした点(どこをくふうしましたか?)	食品のコマを移動しやすくなるために粘土を使ってみました。	
3 使い方と効果(どうやって使いますか? 使ったとどうなりますか?)	冷蔵庫にあるものをボードに貼って、買い物中に写真を見ながら買い物をすることでムダな買い物が減り食品ロスの対策ができる。	

注1 説明は簡潔しやすくわかりやすく書いてください。  
注2 この出品賞を作品の横のところに付けてください。

関中央ロータリークラブ会長賞



作品名：家で出来る食品ロス対策